

「公立山城病院」は「京都山城総合医療センター」に新しく生まれ変わります! (平成25年5月1日から変更予定)



公立山城病院新聞

臨時号

日本医療機能評価機構
認定病院

発行元
公立山城病院
電話.0774-72-0235
発行元責任者
中 埜 幸 治

京都山城総合医療センターの名称のもと、より親しまれる病院を目指して



病院組合管理者 河井 規子 (木津川市長)

平素は公立山城病院の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、公立山城病院は平成25年5月1日をもって「京都山城総合医療センター」として新しいスタートを切ることになりました。新病院名は、当院開設60周年の記念事業の一環として、広くみなさまからご応募いただいた中から選ばせていただきました。

当院は昭和27年に8町村の一部事務組合として、また国民健康保険組合の直営病院として発足いたしました。以来、京都府南部地域の中核病院として重要な役割を担ってまいりました。平成24年度からスタートいたしました第二次経営改革プランに基づき、良質な医療とサービスの提供を目指し、医療スタッフ・職員あわせて、経営の健全性を維持しているところでございます。

平成25年度におきましては4月に糖尿病センターを開設し、秋頃には慢性腎臓病センターの開設を予定しており、医療機器の整備・更新を図り、より一層の診療充実に向けてまいります。

京都山城総合医療センターの新しい名称のもと、これまで以上の質とサービスの向上を通じて、地域のみなさまに親しまれる病院づくりを目指してまいりますので、今後ご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



除幕式開催のお知らせ

来る4月30日(火)河井管理者の指揮のもと、午後4時より新生・京都山城総合医療センター開院の除幕式を開催します。

●日時 4月30日(火) 午後4時より

●場所 山城病院 玄関前



決算報告

第一次経営改革プランの努力が実り、3期連続の黒字決算見込み!

決算見込み

これからも健全経営と良質な医療の提供を両輪に

平成21年度に策定いたしました「公立山城病院第一次経営改革プラン」に基づき、経営構造の改革や医療スタッフの充実などの取り組みを強化し、収支の均衡化を目標として推し進めてまいりましたところ、平成22年度は4,280万円、23年度は6,690万円の黒字決算となり、平成24年度におきましても、『第二次経営改革プラン』に沿って健全経営を維持し、約2億円の黒字決算が見込まれることになりました。

今後、経営の健全性を維持、継続し、地域のみなさまの期待に応え、良質な医療を提供し続けていけるよう職員一同、取り組んでまいります。

当院の主な施設設備の投資計画

長期ビジョンに基づいた設備の更新

『公立山城病院 第二次経営改革プラン』の目標の一つに健全経営を維持しつつ、長期ビジョンを見据え、計画期間(平成24年度から平成27年度)において、中核病院として求められる主要な医療機器等の更新・整備を集中的に行うことを掲げています。具体的には医療機器に12億5,900万円、建物設備等に4億9,800万円、合計

17億5,700万円の投資を行っていく予定です。

主な医療機器

- 個人用透析装置
- 超音波診断装置
- 手術顕微鏡
- その他

主な建物設備等

- 温水ボイラー取替
- 病棟浴室の改装
- その他

TOPIC 最新機器のご紹介

昨年、最新のマンモグラフィを更新しました。

マンモグラフィ検査とは、乳がんを写しこむために乳房専用のX線撮影装置を使用し、左右の乳房をそれぞれ圧迫して撮影する検査です。

乳がんの特徴である微細な石灰化や腫瘤を写すことができます。通常の検査時間は約15分です。

今回の装置更新により、X線量を感知するセンサーが3個から48個に増加し、さまざまな乳房に適したフィルム濃度が得られます。そのため安定した画質を提供することができるようになります。診療の質が向上いたしました。



平成25年度の取組み

糖尿病センターの設立 予定4月

当院における糖尿病患者さまの受診者数はこの10年で3倍に増加!

近年、糖尿病患者または予備群は年々増加傾向にあります。

2007年の厚生労働省による「国民健康・栄養調査」では、糖尿病患者約890万人(対総人口比7.1%)、予備群約2,210万人(対総人口比17.6%)と10年前との調査比較では糖尿病患者は1.3倍、予備群は3.3倍に増加しております。

当院に受診される糖尿病患者さまもこの10年で約1,000人から約3,000人となり、現在もさらに増えている状況です。

このようなことから、平成25年4月に糖尿病センターを設立し、保健所、医師会等各関係機関と連携を強化し、いま以上に、糖尿病発症の予防、早期発見・治療や糖尿病合併症の発現防止に取り組んでいきたいと考えています。



医療社会事業部の設置 予定4月

より充実した患者さまサービスを!

地域医療連携室と患者サービス推進室を一体化し、地域包括ケアの推進を目指し、患者さま、家族さまに対する相談指導体制の充実強化を図ります。

慢性腎臓病センターの設立 予定

腎臓病の発症予防で地域を元気に!

日本での慢性腎臓病患者数は約1,330万人で、2008年から4年間で新たに透析導入された患者は毎年3万7,000人以上で、この導入者の約44%は糖尿病腎症による腎不全です。

また、慢性腎臓病患者は透析の予備群だけでなく、心血管疾患(脳卒中・心筋梗塞など)の発症と死亡率とも関連しています。今秋を目前に慢性腎臓病センターの設立を予定しており、慢性腎臓病の発症及び透析導入予防、心血管疾患の発症予防に取り組んでいきたいと考えています。

お知らせ

診療科目が変わります!

(平成25年5月1日から予定)
患者さまにとってよりわかりやすい診療科目とするため、平成25年5月1日から一部の診療科目を次のとおり変更いたします。
なお、診療内容に変更はございません。

変更前	変更後
内科	内科
	糖尿病・代謝内科
	腎臓内科*
呼吸器科	呼吸器内科
	呼吸器外科
消化器科	消化器内科
	消化器外科
循環器科	循環器内科
外科	外科
	乳腺外科
	小児外科
泌尿器科	泌尿器科
	泌尿器科(人工透析)

(※腎臓内科の診療は秋頃開始予定)

Information

介護老人保健施設『やましろ』だより

「ろうけん」は高齢者の自立を支援する施設です。

介護老人保健施設『やましろ』は、公立山城病院併設の高齢者施設です。最近では、高齢者施設もさまざまな種類があり、「よくわからない」という声を耳にします。今回は、介護老人保健施設について、簡単に説明したいと思います。

その1 「ろうけん」介護老人保健施設はどんな所?

介護老人保健施設は介護を必要とされる高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指す施設です。病状が安定しており入院を必要としない方々に、治療よりもリハビリテーション、レクリエーション、看護、介護等を中心とした医療ケアと日常生活サービスを併せて提供します。ご利用者一人ひとりの状態や目標に合わせたケアサービスを専門スタッフが、夜間でも安心できる体制を整えています。



その2 どんなサービスを受けられる?

《入所サービス》

要介護1～5の方で病状が安定しており、入院や特別な治療の必要のない方に入所していただき、食事、入浴、リハビリテーション、レクリエーションなどのサービスを提供し、楽しみながら日常生活での自立を目指していただきます。

《短期入所(ショートステイ)》

ご家庭で生活されている要支援1～要介護5の方で、ご家族の病気、冠婚葬祭、介護疲

れなどの事情により、一時的に家庭での介護ができなくなった場合に、短期間入所していただくサービスです。また、ご希望により、当施設の車にて送迎もさせていただきます。

《通所リハビリテーション(デイケア)》

ご家庭で生活されている要支援1～要介護5の方に施設に通っていただき、健康チェックを受け、リハビリテーション、食事、入浴、レクリエーションなどを楽しんでいただく日帰りのサービスです。また、ご希望により、当施設の車にて送迎もさせていただきます。



その3 利用するためにはどうしたらいい?

利用相談が必要です。一度お電話にて当施設にお問い合わせください。在宅の方や入院中の方も含め、幅広く相談を受け付けております。

TEL 0774-1731-0359

やましろニュース

平成25年1月、新施設長が就任いたしました。「明るく、楽しく」をモットーに、地域のみなさまのお役に立てればと思っております。よろしくお願致します。



施設長・赤坂 裕三



秋のレクリエーション
コスモス観賞